

登録販売者試験部会の開催状況について

1 令和7年度試験部会

部会委員

所 属	氏 名	備 考
秋田県病院薬剤師会	平泉 達哉	委員（部会長）
秋田県薬剤師会	佐藤 友紀	委員
秋田県薬剤師会	嶋田 逸大	委員
秋田県健康環境センター	松渕 亜希子	専門委員
由利地域振興局福祉環境部	石川 智之	専門委員

(1) 方 法

書面開催（意見聴取：令和7年7月15日（火）まで）

(2) 内 容

- ア 令和6年度登録販売者試験の実施状況等について
- イ 令和7年度登録販売者試験実施計画について
- ウ 令和7年度登録販売者試験問題（案）の精査について

2 令和7年度試験

(1) 日 時 令和7年8月27日（水）

午前10時30分から午後3時55分まで

(2) 場 所 ANA クラウンプラザホテル秋田

(3) 結果等

ア 出願者数、受験者数及び合格者数

実施年度	出願者	受験者	欠席者	合格者	合格率
令和7年度	359名	338名	21名	124名	36.7%
令和6年度	392名	364名	28名	182名	50.0%

イ 各試験項目得点状況

	平均点	最高点	最低点	配点
試験全体	76.5	116	37	120
医薬品に共通する特性と基本的な知識	16.0	20	8	20
主な医薬品とその作用	22.9	40	7	40
人体の働きと医薬品	13.6	20	3	20
薬事に関する法規と制度	13.2	20	4	20
医薬品の適正使用と安全対策	10.6	19	3	20

ウ 合格基準

総得点が7割以上かつ各項目の得点が4割以上

エ 採点にあたって考慮した問題

なし

オ 合格発表日 令和7年9月30日（火）

毒物劇物取扱者試験部会の開催状況について

1 令和7年度試験

- (1) 日 時 令和7年9月3日(水) 午後1時30分から午後3時30分まで
- (2) 場 所 ANAクラウンプラザホテル秋田
- (3) 結果等

ア 出願者数、受験者数及び合格者数

	一般	農業用品目	特定品目	合 計
出願者数	93名	37名	0名	130名
受験者数	84名	34名	0名	118名
合格者数	35名	5名	0名	40名
合格率	41.6%	14.7%	0.0%	33.9%

イ 試験科目

科 目	出題数	満 点
1. 毒物及び劇物に関する法規	20問	20点
2. 基礎化学	20問	20点
3. 毒物及び劇物の取扱方法等	10問	20点
4. 実地試験	10問	(※)
合 計	60問	60点

※この2科目については、合わせて一つの科目とする。

ウ 合格基準

総得点の6割(36点)以上、かつ、各科目(試験科目3及び4については、合わせて一つの科目とする)の各得点が4割(8点)以上の者を合格者とする。

エ 合格発表日 令和7年10月7日(火)

2 令和7年度試験部会

部会委員

所 属	氏 名	備 考
秋田県薬剤師会	嶋田 逸大	委員 (部会長)
総合教育センター	田口 峰子	専門委員
健康環境センター	松淵 亜希子	専門委員
平鹿地域振興局福祉環境部	藤原 達	専門委員

(1) 方 法

書面開催(意見聴取: 令和7年12月25日から令和8年1月8日まで)

(2) 内 容

- ア 令和7年度試験実施状況及び令和8年度試験実施計画について
- イ 令和8年度実施試験の秋田県担当問題(案)の精査について

薬局機能強化部会の開催状況について

1 令和7年度薬局機能強化部会

- (1) 日 時 令和8年2月27日（金）～3月9日（月）
- (2) 開催方法 書面開催
- (3) 部会委員

所 属	氏 名	備 考
秋田県医師会	田村 広美	委員
秋田県医師会	伊藤 良正	委員
秋田県薬剤師会	佐藤 友紀	委員（部会長）
秋田県病院薬剤師会	平泉 達哉	委員
秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会	長谷川 淑子	専門委員
秋田市保健所	庄司 学	専門委員

(4) 内 容

ア 報告事項

- 「地域連携薬局」の認定状況と制度改正の動向について
 - ・ 地域連携薬局数（令和7年12月31日現在）25薬局
 - ・ 数が不足し、大手チェーンが多い。認定のネックを検証すべき。
 - ・ 地域偏在があり、大手チェーン薬局数と相関しているため対応が必要。
 → 国の検討会での議論を踏まえ、制度改正等の動向を注視する。
- 「専門医療機関連携薬局」の認定状況と専門薬剤師の養成状況について
 - ・ 専門医療機関連携薬局数（令和7年12月31日現在）1薬局
 - ・ 専門薬剤師の養成等について、県薬剤師会、県病院薬剤師会と連携する。
 - ・ がん診療連携拠点病院の近隣に認定薬局がないのは好ましくない。医療機関等と一体となって考えるべき。
 → 関係団体と情報共有を図り、制度充実に向けた取組みを推進する。
- 「健康サポート薬局」の届出状況及び「健康増進支援薬局」認定制度への移行について
 - ・ 健康サポート薬局数（令和7年9月30日現在）37薬局（県20市17）
 - ・ 認定権限が県へ移行するが、開設許可権限を持つ秋田市との情報共有・連携が重要。
 → 新制度の施行に向け、秋田市と協議していく。

イ 協議事項

- 地域の医師・医療機関を含む地域全体で薬局を育成する流れを作る支援策について
 - ・ 意見は特になし
- 多職種への周知という課題に対し、認定薬局の認知度向上の方策について
 - ・ 薬局自体の理解不足が懸念。多職種へ広めるには薬剤師会による積極的なアピールが必要。
 - ・ 認定薬局を講師とした多職種向けの研修会やワークショップの開催はどうか。
 → 「薬とくらしの教室」や「薬と健康の週間」を活用し、普及啓発を推進する。